

平成24年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：セジロウンカ、トビイロウンカ（No.1）

平成24年7月25日

鳥取県病害虫防除所

1 セジロウンカ

(1) 発生状況

ア 予察灯への初飛来は7月1日（平年：6月7日）で、平年と比較して遅かった。
また、7月第3半旬現在、予察灯への総誘殺数は平年と比較してやや少ない。

イ 7月18～20日に行ったウンカ類常発地における定点巡回調査の結果、発生ほ場率は93.5%（平年：81.3%）で平年より高く、1株当たり平均成幼虫数は3.5頭（平年：6.4頭）で、平年と比較してやや少なかった。

ウ 現地ほ場での発生の主体は成虫及び若齢幼虫である。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 現在、本種の防除が必要である地域はないものと考えられるが、沿岸部等の常発地では、今後、幼虫密度が高まる可能性がある。8月上旬までに要防除水準（成・幼虫数10頭/株）を超えたほ場では、病害虫防除指針等を参考にして防除を行う。特に、中生品種栽培ほ場等、8月上旬までに穂ばらみ期防除を実施しないほ場では、本種の発生状況に十分注意する。

イ 8月上旬頃までに穂ばらみ期防除を実施するほ場では、殺虫・殺菌混合粉剤などを用いて、本種、いもち病及び紋枯病等を同時防除する。

2 トビイロウンカ

(1) 発生状況

ア 7月第3半旬現在、予察灯への飛来は認められていない。

イ 7月20日現在、現地ほ場での発生は認められていない。

(2) 防除上注意すべき事項

現在、本種の防除が必要である地域はないものと考えられる。しかし、セジロウンカの飛来にトビイロウンカが混在していた可能性もあるので、ウンカ類常発地では今後の発生状況などに注意する。